



No.608A

N180

LA1463,1464

モノリシックリニア集積回路 カラーテレビ水平、垂直偏向回路用

◇ 半導体ニュース No.608A と同一です。

LA1463,1464 は 偏向用 IC として 基本的に必要な同期分離、水平発振、垂直発振等の全機能に加えて パーストゲート および ペDESTALクランプ用パルスや ブランキング用パルスの作成 さらにPAL用(LA1463)、NTSC用(LA1464)のそれぞれの方式に対応した水平位相補正、像曲り補正機能を内蔵した 多機能集積回路である。

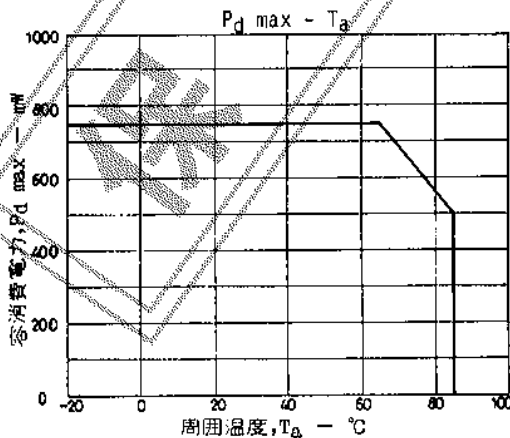
- 機能
- ・ノイズ消去
 - ・同期分離
 - ・APC
 - ・水平位相補正
 - ・比較ノコギリ波の作成
 - ・水平発振
 - ・垂直ドライブ
 - ・垂直発振
 - ・パーストゲートパルスの作成
 - ・ブランキングパルスの作成
 - ・X線保護

- 特長
- ・映像プリアンプを内蔵しているため 同期分離が安定している。
 - ・パーストゲート および ペDESTALクランプ用のパルスは 水平同期信号のパックポーチを正確に抜きとるとともに フライバックパルスでゲートされている。
 - ・水平 および 垂直の発振回路は フォームアップドリフトが小さく 電源電圧や周囲温度の変動に対して安定である。
 - ・DC 帰還による 垂直出力段のバイアス制御は 帰還期間内のサンプリング制御であるため リニアリティやインターレースが良好である。
 - ・水平のブランキングパルス幅は 外部定数によって設定できる。

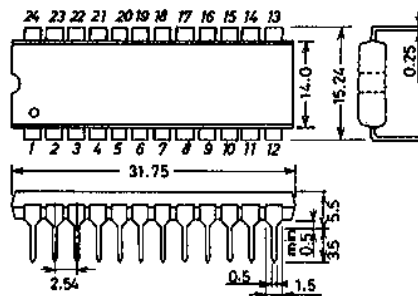
最大定格 / $T_a = 25^\circ\text{C}$		unit
最大電源電圧	V_{12}, V_{24}	14 V
許容消費電力	$P_d \text{ max}$ ($T_a \leq 65^\circ\text{C}$)	750 mW
動作周囲温度	T_{opg}	$-20 \sim +85^\circ\text{C}$
保存周囲温度	T_{stg}	$-55 \sim +125^\circ\text{C}$

動作特性 / $T_a = 25^\circ\text{C}$		min	typ	max	unit
同期特性					
プリアンプ利得	標準検波出力 = $1V_{p-p}$		15		dB
垂直特性					
フリーラン周波数	f_v 標準 55 Hz	-5		+5	Hz
発振周波数の温度係数	$T_a = -10 \sim +60^\circ\text{C}$	-0.015		+0.015	Hz/ $^\circ\text{C}$

次ページへ続く。



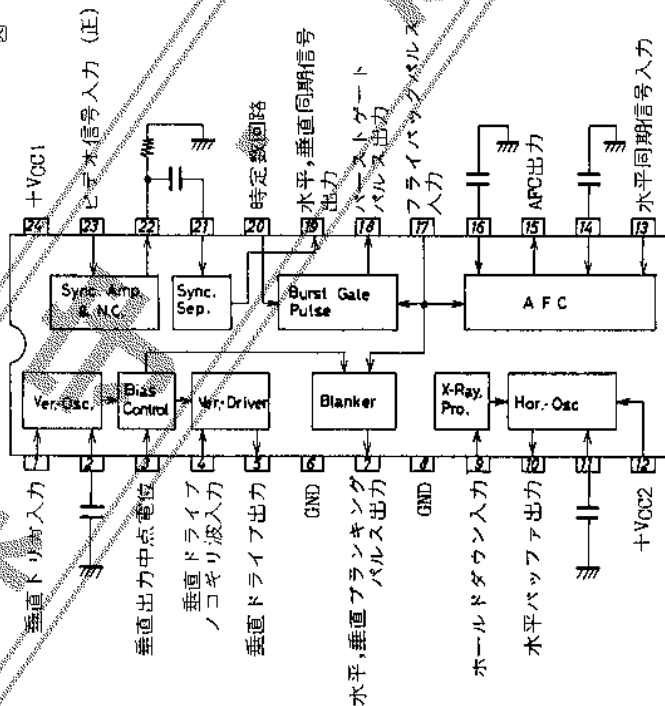
外形図 3011
(unit: mm)



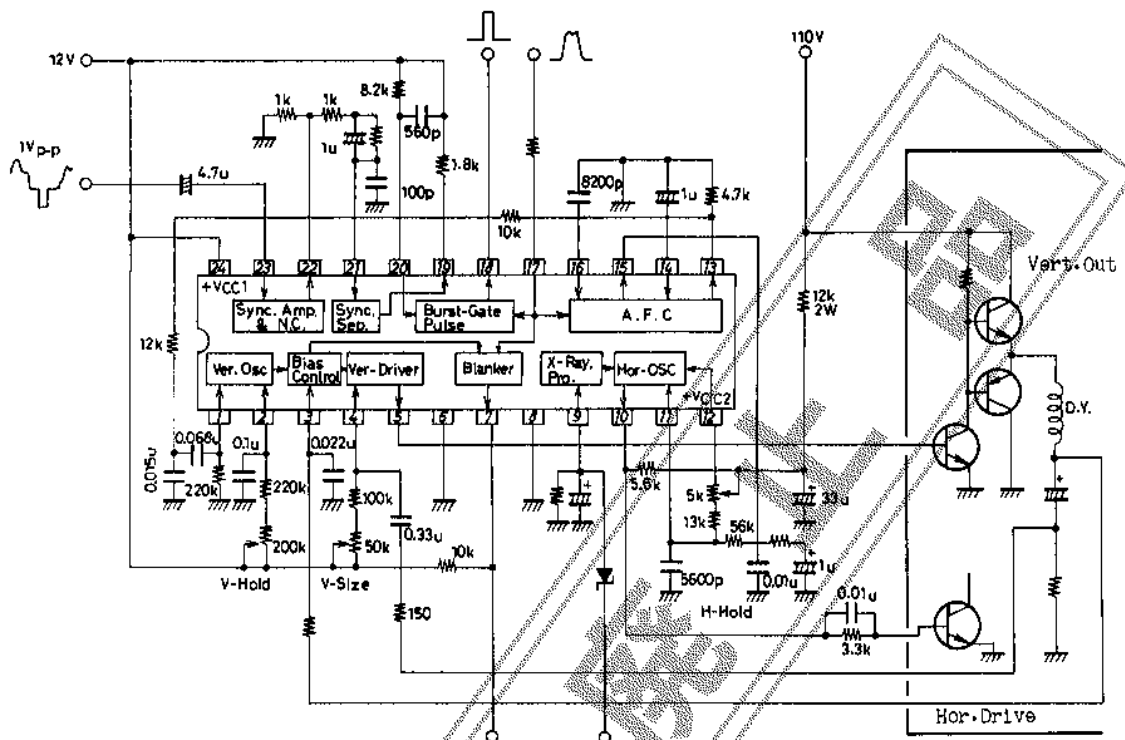
次ページから続く

			min	typ	max	unit
垂直特性						
発振周波数の電源電圧依		+VCC1 = 12±1V, fV = 55Hz	-0.7		+0.7	Hz
発振開始電圧					4	V
引き込み範囲		引き込み周波数=60Hz	-8.5		-6.5	Hz
水平特性						
フリーラン周波数	fH	標準 = 15.734kHz	-650		+650	Hz
発振周波数の温度係数		Ta = -10~+60°C	-2.5		+4.0	Hz/°C
発振周波数のウォームアップドリフト		5sec~30min	-50		+80	Hz
発振周波数の電源電圧依存		+VCC2 = 12±1V, fH = 15.734kHz	-30		+30	Hz
発振開始電圧					4	V
引き込み範囲		引き込み周波数 = 15.734kHz		±380		Hz
発振パルスデューティ				50		%
バーストゲート および ベテスタルクランプ用パルス特性						
波高値	VBG		6.3		7.5	V
パルス前縁遅れ時間		同期信号の後縁を基準			0.5	μs
パルス後縁遅れ時間		//	3.4		4.0	μs
ブランキングパルス特性						
波高値					12	V
垂直パルス幅		ランプ回路の帰線期間に対して		1.3		倍
水平パルス幅		フライバックパルス幅に同じ				

等価回路ブロック図



■ 応用回路例



保時